

平成30年度 事務事業マネジメントシート

		事務事業No.		2-	4	
事業名	鉄道事業費		会計	款	項	目
			一般	2	1	12
施策	1	安全・安心なまち	課名	政策課		
	1-2	住みやすいまちをつくる	係名	政策係		
	1-2-2	道路・公共交通網の整備				
主要施策	④ 公共交通機関の充実					

① 事務事業の目的・内容

事業目的	対象	通勤・通学者と高齢者、障がい者等の交通弱者	目的 (対象がどのような状態になっているか)	通勤・通学者と障がい者等の交通弱者が、公共交通としての鉄道を利用して、移動ができています。
事業内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>北勢線事業運営協議会の設置</li> <li>北勢線事業運営維持費への補助</li> <li>三岐線鉄道軌道安全輸送設備等整備事業への補助</li> <li>三岐線鉄道施設安全対策事業への補助</li> </ul>			

② 事務事業の実績・現状及び成果を表す指標の動きとコストの状況

		指標名	平成28年度	平成29年度	平成30年度	単位	目標方向	平成31年(目標)		
指標	1	北勢線利用者数		2,558,830	2,571,828	人	↑			
	2	※公共交通機関(三岐鉄道、路線バス、コミュニティバス)の利用者についての調査		次回アンケート調査で把握	次回アンケート調査で把握	%	↑			
	3									
	4									
	5									
			平成29年度(決算)		平成30年度(決算)		平成31年度(予算)			
全体事業費(千円) A+B					47,636	50,932	62,766			
財源内訳	直接事業費 A					47,636	45,652	50,886		
	うち一般財源					47,566	45,581	50,816		
人件費(千円) B					0	5,280	11,880			
内訳	一般職員(人・千円)					0	0.8	5280	1.8	11880
	臨時職員(人・千円)					0	0	0	0	0

③ 事務事業の評価、今後の方向性及び業務改善<※主管課長記入>

(1) 事務事業についての評価及び今後の方向性

個別評価	必要性	今後の必要性	A 必要性は高まると考えられる	有効性	目標達成度	B 達成できなかった
		町関与の必要性	A 町が担うべき	効率性	対象者の適切性	A 対象者は適切である
					コストの削減	C 削減の余地が大きい
総合評価	III 要改善(事業は継続するが、更なる改善が必要)					

(2) 事務事業の業務改善について

①H30年度の改善計画		③取組の課題	北勢線利用者数は平成29年度の実績に比べて0.5%の増であったが、長期的に見ると定期外、通学定期に比べて通勤定期の伸びが低調である。
②H30年度に実施した取り組み	2市1町と三岐鉄道で構成する北勢線事業運営協議会による利用促進を行った。	④今後の改善計画	通勤定期、通学定期、定期外に分けて、どの区分を伸ばすかを定めて利用者増に取り組む。